

農園通信

2023年11月・12月

発行・問合せ先：島本町農業振興団体
協議会・町民農園部会 福田

fukuda-ka@amil.plala.or.jp

アブラナ科の野菜作りと害虫

冬野菜と言えば、やはりアブラナ科の野菜が主役ですね。アブラナ科＝大根、白菜、カブ、ブロッコリー、キャベツ、小松菜、ペンリナ、水菜、チンゲン菜等。そして、アブラナ科は害虫対策が大切です。

しかし、「害虫」一般ではなく、それぞれ虫には名前があり食害の仕方も違います。対策の仕方も違います。(詳しい学名までは要りません)。

▶一番困るのはダイコン(サル)ハムシでしょう。大根、白菜、カブ、葉物＝発芽したばかりの葉は食べつくされて消えてしまいます。成長後では葉がレース状になります。苗が小さい間だけ薬を使うというのも1つの方法です。無農薬栽培の場合は、元肥をしっかりと入れて、防虫ネットは裾を全部土に埋めて大きくなるまでネットを開けないことがポイントです。

▶白菜、カブ、葉物は特にダイコンハムシに弱いので、成長するまでネットを開けません。

▶しかし、大根はネット掛けにも注意。大きくなって窮屈になるとアブラムシが付きます。ある程度の大きさになればネットは外して風通しを良くします。少しのアブラムシはテントウムシが退治してくれます。

▶ブロッコリー、キャベツの害虫は蝶なので蝶が入らないようなネット掛け、下は埋め込まなくても大丈夫です。 #防虫ネットの掛け方も野菜の種類によって違います。

▶他、シンクイムシ(ハイマダラノメイガ)、シロイチモジヨトウへの対策と、まさに農業は多彩、脳業です。

植物も会話している
害虫に食べられた葉は、におい(化学物質)を発して離れた植物にも「防御せよ」と伝達している。

植物は会話していた！NHK・SDGs 未来へ17アクションもおすすめ

農園と高齢者福祉

農園では多くの高齢者が野菜作りを楽しんでいます。

- ・畑が日課、出かけるところがあって良かった。畑がないと閉じこもりになる。
 - ・種が芽を出した時とてもかわいい。畑にいるとうれしい気持ちになる。
 - ・病気持ちでいつまで畑に来れるか分からないが、来るのが励みになっている。
 - ・脳梗塞で右半分が少し不自由。畑で手足を動かすことがリハビリになっている。
- ♪農作業は五感(視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚)をフルに刺激します。
 ♪体を動かすことで、生活習慣病の予防改善、運動機能と体力の維持・促進が図られます。
 ♪小さな種から芽を出しすくすくと育つ姿は愛おしく、幸せホルモンが分泌されます。
 ♪「農業は脳業」、自然を相手の労働は試行錯誤で、脳の機能を維持、向上させます。



園芸療法
が注目されています。

今農園に来ておられる方だけでなく、右のアンケート結果(4位:31.4%)から、多くの方が野菜や花作りに興味・関心を持たれていることが分かります。今後も高齢化社会が続きます。高齢者福祉という観点からも、「農園」を取り上げていくことが必要と思われます。

第8期島本町保健福祉計画及び介護保険事業計画のための【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

対象:65歳以上の要介護を受けていない人 800人と
要支援者 200人 有効回収率:70.8%

◆質問項目6:興味・関心のあることは何ですか

1位・旅行 45.8% 2位・運動 42.9% 3位・料理 38.4% 4位・ガーデニング、野菜作り 31.4% 5位…

(;^ω^;) 観察が力

自分の畑だけでなく、他の畑もどんどん観察
しましょう。野菜作りは1年1回の経験ですが、
10人の畑を観察すると10年分経験できます。
レベルアップの鍵は観察にあり



経験談

(Fさん) 今年の害虫

- ・10月に収穫する枝豆、昨年は緑色のカメムシに95%やられて壊滅的だった。緑色のカメムシに実を吸われると実が出来ても薄いしまずい。ところが今年はマルカメムシは付いたが緑色のカメムシは少なかった。暑すぎたからか？今年はお米のカメムシ被害も少なかったとのこと。(マンションの廊下にはカメムシがいっぱい飛来したのに不思議ですね)
- ・オクラの葉につく葉巻き虫(ワタノメイガ)も今年は少なかった。以前桜井で作っていた時は葉巻き虫で葉がどんどんだめになったが高浜に来てからは被害が少ないように思う。

(Nさん)

周りの人から大根作りだけは上手だねと褒められる。8月20日頃に1か所3粒の種を落として、新聞紙で蓋をして2、3日、発芽したら防虫ネットを掛ける。薬を使ったことはない。これで毎年成功する。

(Nさん)

- ・人参の発芽に成功！筋溝に赤玉土を敷いて種を蒔き上からも赤玉土を薄く掛けた。
- ・昨年は大葉の菊菜を作ったが、秋とてもきれいに育っていたが、寒波が来たらいっぺんにくしゃくしゃになった。それで、ビニールを掛けたがうまくいかず大変だった。今年は中葉の菊菜にする。

(Rさん) 初めての野菜作り

- ・春はラディッシュを少量ずつ時間差で種を蒔き、長い期間楽しめた。
- ・ズッキーニを種から、家で苗を作って畑に定植した。これも時間差で苗2つを作ったが、後のものは定植が遅かったからか駄目だった。でも先に定植したものは収穫出来、とても美味しかった。売っているものよりずっと美味しかった。
- ・9月人参の種を蒔いた。発芽の時に水が必要とのことで毎日水やりに来た。仕事で遅くなった時も、きれいに発芽した。

(Iさん)

- ・4月に小松菜を蒔いたらとても良かったので、9月にも蒔いた。9月蒔きは虫に食べられて丸坊主。
- ・枝豆は茎も葉も立派に育ったが実が太らなかった。以前桜井で作った時食べきれない程できたのに。

(Sさん)

今年の夏は定番の夏野菜と共に緑茄子とガラシヤナ菜を植えました。緑茄子は、茄子とは違い成長が遅く、花もなかなか咲かなかったので、もう実もならないかと思っていたら、少したって花が咲き実がたわわに付きました。果肉がしっかりしていて田楽にすると味が濃くて美味しかったです。

ガラシヤナ菜と呼ばれている水前寺菜は根付いて大きくなってきたと思ったら枯れてしまいました。

何が原因だったのか、分からずじまい。

毎年思うことですが、お野菜にはお野菜の事情があり(笑)そのお野菜にあった成長速度があったり、その土？気候？が合わなかったら自然に萎えてしまったり、考えさせられることが多いですね。

だから、次はこうしてみようと私の好奇心は萎えることはありません。(笑)

農園の空き情報<問合せ先>

町民農園部会：福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

農園通信のアーカイブ

島本町農業振興団体

協議会のHPに掲載



水前寺菜：キク科の
多年草
栄養豊富な伝統野菜